

港北区の「活動」をつなぐ情報誌

楽らく遊ゆう学がく

第310号

2024(令和6)年4月
隔月発行

【編集・発行】港北区区民活動支援センター

特集

子どもの豊かな心の育ちと様々なつながりをつくる
「横浜きた・おやこ劇場」



(横浜きた・おやこ劇場の皆さん)

- P.2 特集「横浜きた・おやこ劇場」
- P.3 「わがまち港北」スポット 菊名コミュニティハウス
- P.4 連載「シリーズ わがまち港北」第237回 林 宏美 著
- P.5 遊学スポット（港北区内・周辺のイベント情報）
『港北区グループ・団体ガイド』登録グループからの会員募集
- P.6 区民活動支援センターからのお知らせ

おおよそ70年前にテレビ放送が始まり、家庭にテレビが普及して子ども向けの番組も多数作られるようになると、子どもたちはテレビから間接的な体験を得るようになりました。一方で、子どもの心の豊かな成長には直接的体験～家族と舞台を観に行く、子ども同士でダイナミックに遊ぶ、身体を使って表現する～等が欠かせないと考えから、実体験の環境づくりが福岡で生まれ、おやこ劇場やこども劇場という名称で全国に広まりました。

現在横浜市内には4つの「おやこ劇場」があり、菊名駅近くに事務局を置く「横浜きた・おやこ劇場」には主に港北区・鶴見区在住の、0歳からの子どもと、お孫さんのいる世代までの大人200余名が所属。生の舞台の観賞や、皆で遊び、つながる機会を大切に、子どもの感性を豊かに育てる活動を40年余りに渡って続けています。そんな「横浜きた・おやこ劇場」の取組を紹介します。



生の舞台を「みる」、思いっきり「あそぶ」、様々な人が「つながる」

年齢に合わせた良質の舞台を選定・鑑賞

①0歳から未就園児、②3歳から小学3年生、③小学4年生以上、と子どもの年齢層に分かれて、それぞれに合った舞台鑑賞を、年間を通じてしています。

昨年9月には神奈川公会堂で、低学年(②)の定例鑑賞会『Witty LookのLife's a Circus!!!!』がありました。担当の会員10家族20～30人は早い時間から集り、会場の飾りつけや入場受付の準備等を行っていました。受付係以外にも、子どもたちは挨拶係、プレゼント係、そして演出で舞台上がる役割もあり、開演前に出演者と円陣を組んで、このあと始まる舞台への気持ちを高め合いました。出演者からは「周りは気にしないで、自分が今だ！と思う気持ちを大切にね。正しいと思ってやりきればそれが正解！劇場内で起こることは客席も含めて全部作品にしよう」との力強い言葉かけもありました。会場の席に着く前から、心の幕は上がります。



(入場受付をする子どもたち)



(皆で輪！左中央が出演者)

異年齢での活動や地域のつながりを創出

お泊り会、キャンプ、忍者修行などの体験活動では異年齢の交流があります。また「遊び会」「およこまつり」等、会員外の地域の親子も参加できる催しも開いています。催しはアンケート等から聞き取った子どもたちの感想や意見を尊重し、各回担当の親を中心に、年上の子ども達も企画や準備に参加。当日に、夢中になって体験できる環境を用意します。

去る2月には、菊名池公園界隈を会場に妙蓮寺の商店さんも巻き込んで、24回目を数える伝統の「忍者修行」がありました。「妖怪を封印するお札を集める」ため、忍び足や尾行方法等の忍術を練習したあと、数人ごとのチームになって菊名池公園から商店街へと繰り出しました。「先輩忍者役の年長者を尾行」したり、「大人(親たち)に話しかける」修行のほか、数店舗の商店に協力を得て、「合言葉を言って指令書を受け取る」という修行にも取り組みました。



(力を合わせて集めたお札)



(修行忍者たち)



(合言葉で渡す指令書)

開場時間になると、子どもを連れてやって来たのはお母さんに、お父さん、おばあちゃんもたくさん！皆さん再会を喜んで声をかけ合っていました。大人は年齢や立場の区別なく多様な交流ができ、それが子育てにも生きていくとのこと。子どもたちにとっても、学校や習い事とはまた別の貴重な居場所になっているようでした。

この日の活動は、篠原地区会館を借りたり、商店さんに修行の指令書を預かってもらうなど、地域とのつながりがあってこそできました。活動を通して大人と大人、子どもと子ども、大人と子どももつながっていく。おやこ劇場の活動は、そんなまちづくりにも一役買っていました。



今年も開催！おとなもこどももわくわく
およこまつり2024 日時:4月27日(土)10時～14時30分 場所:綱島公園
 <1日フリーパス> 前売 500円/当日 600円 (3才以上1人につき)
 問合せ:横浜きた・おやこ劇場事務局 ☎045-431-7932 月・火・木・金10時～13時

菊名駅から徒歩5分、小高い丘の中腹に建つのが菊名コミュニティハウスです。隣接する菊名町公園の木々を借景とした緑豊かなロケーション。南西向きの窓からは、ほぼ1日中太陽の光が降り注ぎ、駅近とは思えない静かな環境は、読書や学習をはじめ、趣味の活動や地域の交流にピッタリな場として、多くの区民に愛される居場所となっています。まるで友だちの家に遊びに来たような和やかな雰囲気が魅力の「菊名コミュニティハウス」をご紹介します。



菊名コミュニティハウス

住所: 横浜市港北区菊名4-4-1
電話: 045-401-4964 FAX: 045-401-4968
開館時間: 月曜日～土曜日 9時～21時
日曜日・祝日 9時～17時
休館日: 毎月第3月曜日(祝日の場合 翌平日)
年末年始(12月29日～1月3日)
交通: JR・東急東横線「菊名」駅東口下車徒歩5分

公式ホームページはこちら ▶

<https://www.kouhoku-ksk.or.jp/kikunacomiha>



木々の緑と光溢れる学習と交流の場

菊名コミュニティハウスの前身は、昭和43年に青少年のための学習の場として設置された「港北区青少年図書館」です。2001(平成13)年、地域の方々の生涯学習や交流・活動の場としてコミュニティハウスに生まれ変わり現在に至ります。旧港北区青少年図書館を引き継ぐ、学習室の広さと約13,500冊もの蔵書が特色です。



特集本コーナー(1F)



図書室(1F)

交流ロビーには、スタッフがテーマを決め、選書をした本が並ぶ「特集本コーナー」を設けています。合わせて、オリジナルクイズや寄せ書きなどのミニイベントも実施しています。参加した子どもたちに、手作りのしおりやおみくじなどのプレゼントもあり、人気となっています。

四季折々の花が咲く花壇と芝生広場

敷地内には「芝生広場」と呼ばれるスペースや中庭があります。ここには、園芸ボランティアさんが丹精をこめてつくった花壇と、夏みかん、ブルーベリー、ザクロといった実のなる木やジンダイアケボノが植えられています。元はソメイヨシノが植えられていた場所に「ぜひまた桜の花を！」という声に応え3年前に「サクラ総選挙」を実施。234名による投票の結果、ジンダイアケボノに決まったそうです。2年前からは「港北オープンガーデン」にも参加。春から初夏にかけて咲くたくさんの花壇の花とシロツメクサや藤棚が遊びに来た方々の目を楽しませています。

園芸ボランティアさん募集中

花壇の整備を行う園芸ボランティアさんを募集しています。花壇のお手入れが終わった後は、メンバーでお茶をいただきながら交流を深めています。

活動日: 木曜日午前・月に1～2回

活動内容: 花の苗植えや草取りなど
どなたでも参加できます。

興味のある方は、施設へ直接お問合せください。



菊名にまつわる3つの質問

先日、菊名について次の3つのご質問をいただきました。

質問①:菊名は、江戸時代以前は小田原北条氏が治めていたようだが、江戸時代の領主や名主は誰か。

質問②:菊名は綱島のように江戸時代も交通の要所のような栄えかたをしていたのか、それとも東横線開通までは田んぼだけだったのか。

質問③:菊名には綱島の桃のような特産品はあったのか。

今回は駒林神社の石垣の話の続きを書く予定でしたが、先にこちらの質問への回答を原稿にしたいと思います。

さて、回答にあたっては最初の範囲設定が重要です。今の感覚で菊名を考えると、菊名駅周辺を思い浮かべますが、そうなる町名としては菊名の他に大豆戸や篠原なども入るでしょう。連合町内会の菊名地区となれば、範囲はさらに広がります。悩ましいですが、近代以前の菊名村は現在の行政区画の港北区菊名とほぼ一致しますので、今回は菊名村を対象範囲として回答していきます。

まずは**質問①**、領主と名主についてです。江戸時代後期に編纂された地誌『新編武蔵風土記稿』には、菊名村の領主について、「正保(1644~1648年)の頃は伊奈半十郎支配し、元禄八年(1695年)安藤対馬守検地せし事あり、その後宝永三年(1706年)、久志本左京に賜りしより今も其子孫の知る所なり」と書かれています。

伊奈半十郎は伊奈忠治を指します。忠治の父の忠次は、徳川家康に仕えて関東郡代として関東の幕府直轄領の支配を担い、利根川・荒川の治水事業や新田開発などで功績を残しました。父の跡を継いだ忠治もその事業を継承発展させています。元禄8年に検知を行った安藤対馬守(安藤重勝)は領主ではないので、ここでは割愛します。

次に名前が登場するのが久志本左京です。これは久志本常勝のことで、江戸時代の菊名は久志本氏の領地の期間が長かったようです。久志本家は古来より伊勢外官の神職と医官を兼ねた家柄で、一族の中には織田信長や徳川家康の侍医を務め、その功から旗本となった家もありました。『横浜市史稿 政治編1』の久志本氏の項には、「宝永三年、將軍綱吉の不予(病氣)に際し、薬を調進したので平癒の後、十一月七日、武州橘樹・都筑二郡で八百石を加へられ(後略)」とあります。武州橘樹・都筑二郡の八百石にあたるのが駒岡・獅子ヶ谷・菊名村(橘樹郡)と鴨居村

(都筑郡)の4村でした。鶴見区駒岡の常倫寺には、久志本家歴代の墓所があります。なお、インターネット上では今も久志本姓の医師の情報が多数見つかります。医官の系譜は脈々と続いているようです。

菊名村の名主については、『大綱時報』第21号(大正12年6月20日)「幕末談」に「久志本左京知行所 菊名村 百姓代 五郎兵衛 年寄 四郎兵衛 名主 平兵衛」と記載があります。また、小田原北条氏に関わる家柄とされる菊名の青木家や金子家は、主家滅亡後に当地へ居住し、村の要職を務めたと伝えられています。

続いては、**質問②**の江戸時代の菊名は栄えていたのかですが、菊名は大正15年(1926年)に東横線が開業したことをきっかけに発展が始まったと思われます。菊名は明治41年(1908年)の横浜線開業時には駅がなく、東横線開業に際して横浜線との交点に駅が造られます。そして駅周辺には分譲地が造成されて宅地化が進んでいきました。

鉄道などの陸上交通が発達する前は、舟で人や物を運ぶ舟運が行われ、鶴見川にも舟運がありました。荷物の積み下ろしをする河岸は街道の近くに置かれ、港北区内の鶴見川沿いには綱島河岸・太尾河岸・小机河岸、支流の矢上川に袋河岸と4つの河岸があり、周辺には商店が並んで賑わったようです。

菊名には綱島街道が通っていましたが、鶴見川からは少し離れていますし、周囲が丘で平地が少ない菊名は開発がしづらかったのかも知れません。

そして**質問③**、菊名の特産物については、大正2年(1913年)に編纂された『大綱村郷土史』によると、篠原・菊名・白幡は都会に近く、且つ地質の関係から近來蔬菜(野菜)の栽培研究に力を入れており、近年その産額が著しく増加している旨が書かれています。そして、「大正元年12月調大綱村主要産物一覧表」を見ると、大根・甘藷(さつまいも)・馬鈴薯(じゃがいも)・牛蒡・胡蘿蔔(にんじん)・草莓・氷について、菊名が主要産地の1つとなっていますが、これらは菊名以外の他の地域でも生産されています。この表で特定の地域だけの産物となっているのは、綱島の桃と大豆戸の醤油(シリーズわがまち港北 第129回参照)のみで、菊名は周辺地域とともに、さまざまな農作物を生産・出荷していたものと思われます。

記: 林 宏美 (公益財団法人大倉精神文化研究所図書館運営部長 兼 研究員)

遊学スポット(港北区内・周辺のイベント情報)

ここに掲載されている内容は、2024(令和6)年2月28日現在の情報です。詳細は、問合せ先にご確認ください。

港北ボランティアガイドの会「新緑の大倉山から樽町を歩く」

日時:4月24日(水)9:30 集合:大倉山記念館前広場
解散:トレッサ横浜12:30頃行程約5.0キロ
参加費:500円(保険料・資料代等)
持参品:飲み物、帽子、雨具など
定員:60名 ※応募者多数の場合は抽選
申込:港北ボランティアガイドの会HPの申込フォームまたは往復はがきに①「新緑の大倉山」②〒・住所・氏名(ふりがな)、参加者全員の氏名・年齢・電話番号③返信用に宛名を記入の上、区民活動支援センターまで(宛先はP6に掲載)
締切日:4月15日(月)必着
問合せ:港北ボランティアガイドの会 <https://kouhokuv.g.yokohama>



神奈川区いまむかしガイドの会「神奈川歴史散歩」

①4月24日(水)「大塚・歳勝土遺跡Ⅱ」(ゆっくりコース約4.0キロ)
集合:市営地下鉄 北山田駅改札口 9:30~10:00
②5月11日(土)「みなとみらい21」(新コース約4.0キロ)
集合:JR根岸線 桜木町駅南改札東口
③5月25日(土)「総持寺」(約4.0キロ)
集合:JR京浜東北線 鶴見駅西口改札口
時間:(集合)②③8:30~9:00 (解散)12:00~12:30
参加費:500円(保険料含)
定員:約120名(応募者多数の場合は抽選)
申込:HPの応募フォームまたは往復はがきに開催日・コース名・〒・住所・氏名・電話番号・参加者全員の氏名を記入の上、〒221-0802 神奈川区六角橋1-10-11
すぺーすろくく内「NPO法人 神奈川区いまむかしガイドの会」
締切日:①4月9日(火)②4月26日(金)③5月10日(金)必着
問合せ:長谷川 TEL 090-8817-0001

港北童謡の会

日程:①4月23日(火) 竹内雅拳先生
②5月21日(火) 柴山秀明先生
時間:各回14:00~16:00 会場:港北公会堂
参加費:990円(事前申込不要)
問合せ:はかりや TEL 070-5556-1491
山本 TEL 090-6924-4650 竹内 TEL 090-6521-5879



日吉台地下壕保存の会日吉の戦争遺跡ガイド養成講座

日吉台海軍地下壕のボランティアガイド養成の実践講座です。
日時:①4月13日②5月18日③6月8日④7月13日、全(土)13:00~15:30(②のみ10:00~15:00)
会場:慶應義塾大学来住舎・中会議室、フィールドワーク
参加費:2,000円(4回分) 定員:20人
申込:メールまたは電話で、①住所②氏名③年齢④電話番号を下記「ガイド養成講座」係へ
申込・問合せ:佐藤 TEL 080-5612-6344
メール hiyoshidaichikagou@gmail.com

港北区民ミュージカル2024

4年ぶりに復活!公演参加者募集と体験レッスン開催(4回)。
体験レッスン(第2回以降の日時はお問い合わせください)
日時:第1回:4月28日(日)10:00~12:00
会場:港北区福祉保健活動拠点 3階多目的室
申込:kohoku.kumin.musical@gmail.com 申込・問合せ↑
問合せ:事務局 TEL 090-6036-1983 公演参加者募集情報↑



アランフェスギターサークル

「わがままコンサート~ultra seventy's~」
クラシックギターのソロコンサート
日時:4月14日(日)13:00~16:00
会場:大倉山記念館ホール 入場料:無料 予約:不要
問合せ:兼平(かねひら) TEL 090-9975-8056
メール aranjuez2005@gmail.com



『港北区グループ・団体ガイド』登録グループからの会員募集

薬膳健康づくり研究会

元気で長生き!!生涯現役で過ごすために薬膳生活を始めませんか?菊名地区センター他県内各地で活動中。
詳しくは、右記ホームページをご覧ください。
問合せ:青木 TEL 044-266-8878
野沢 TEL 781-8449 (申込もホームページから)



横浜きた・おやこ劇場

いつからでも入会できます。詳細はP2をご覧ください。
会費:1,650円(年齢により1人または1組/月)、300円(入会時)
問合せ:事務局 メール y.kitaoyako@gmail.com

男の料理

家庭料理を中心に、男性でも手軽にできる料理を指導していただき、皆で楽しく食事をしています。見学大歓迎!
日時:毎月第2日曜日9:30~13:00会場:菊名地区センター
会費:2,200円/月(材料費含)
申込・問合せ:御村(みむら) TEL 090-3001-4703
メール m.nakatehara.412@docomo.ne.jp

文の友 ~特養入所者の方との絵手紙交流~

特別養護老人ホーム入所の皆さまに絵手紙をお送りしています(月2~3枚)。自宅で無理なくできるボランティアです。
定例会会場:かながわ県民センター(横浜駅西口)
会費:1,000円/年
申込・問合せ:花里(はなざと) TEL 080-6804-6297
メール hanasan87310@yahoo.co.jp

よそおい着付け教室

きものにふれ親しみ、道具を使わず手結びで基本の着装を目標にしています。(入会・見学随時)
日時:毎月2回(水曜)12:30~14:30(金曜)9:30~11:30
会場(水曜)菊名地区センター他(金曜)綱島地区センター他
会費:1,500円/月(入会金、販売なし)
問合せ:区民活動支援センター

大倉山エルムフォトクラブ

日時:2ヶ月ごと第1水曜日14:00~17:00(4枚作品講評会)
会場:大倉山商店街振興会館2階 会費:2,000円/6回
その他:プロ写真家による作品講評会(年6回)、秋芸美術展、こうぼく梅の写真展&大倉山エルムフォトクラブ展(年2回)
問合せ:高橋 TEL 090-7281-1140
メール taboerm@88.netyou.jp

区民活動支援センターからのお知らせ

次号(第311号)から「楽遊学」が変わります！

『遊学スポット(港北区内・周辺のイベント情報)』及び『登録グループ・団体の会員募集』情報の掲載方法がウェブ(区民活動支援センターのホームページ)での案内に切り替わり、毎月リアルタイムな情報をお伝えします。

☆『遊学スポット(港北区内・周辺のイベント情報)』の掲載依頼は、右の二次元コードから申請してください。

掲載希望月の前月の10日までに申請してください。
翌月1日にホームページに掲載します。



遊学スポットはこちら↑

☆『登録グループ・団体の会員募集』の掲載依頼は、下の二次元コードからお申し込みください。
掲載は年1回です(※区民活動支援センターに「グループ・団体」登録している団体に限ります)。
詳しくはホームページでご確認ください。



会員募集はこちら↑

区民活動支援センターをご利用ください。

区民活動支援センターでは、区民活動のお手伝いや、何かを始めたいなどのご相談、情報の提供と発信、活動の場の提供、活動や学習に必要な機材の貸出、活動団体のスキルアップ支援などを行っています。皆さまの活動に、ぜひご利用ください。

※主体的な生涯学習・公益的活動を行う市民グループ・団体が対象です。



支援センターの紹介↑

◆活動の場の提供

会議室(区役所4階)・作業コーナー(印刷機等)が利用できます。また印刷用紙等の保管場所として情報交換ボックスもご利用できます。
「港北区区民活動支援センター(施設利用)登録済証」(グリーン)を発行します。



登録済みの団体の皆さま
有効期限: **令和6年**または**2024年3月31日**と記載されている場合は、更新手続きが必要です。
窓口にお越しください。

◆機材の貸出

プロジェクターやアンプ・マイク等の機材や、布おもちゃ昔ばなし紙芝居等の貸出を行っています。(詳しくはウェブページをご参照ください)。
「貸出機材利用者登録証」(オレンジ)を発行します。



会議室(定員18名)



印刷機



布おもちゃ



ワイヤレスマイクアンプ

機材・布おもちゃ
・紙芝居の貸出

ご意見ご感想をお寄せください

港北区区民活動支援センター(港北区役所4階48番窓口)

〒222-0032 港北区大豆戸町26-1

TEL&FAX 540-2246

Eメール ko-center@city.yokohama.jp

★開館時間★ 月～金曜 8時45分～17時(土・日曜、祝日、年末年始除く)

港北区区民活動支援センター

検索

